

日本最南端で最西端の のぼれる灯台

常時のぼれる灯台は全国で16基のみとなっており、97 段の階段ですが「手すりもあり幅が広くてとても登りやすい」という声をよく頂きます。

灯台へ登られた方々からの声

やっぱり下で見るのとは全然ちがう！

上から見ると地球の丸さがすごくよく分かる！



灯台へのアクセス

★航空便

- ・東京～宮古島（直行）約2時間40分
- ・名古屋～宮古島（直行）約2時間30分
- ・大阪～宮古島（直行）約2時間10分
- ・那覇～宮古島 約45分

★自動車

- ・宮古島空港～平安名埼灯台 約30分
（レンタカー、約20km）

※路線バスなし、季節定期観光バス有り（要確認）



< 参観寄付金 >

300円（中学生以上）

小学生以下及び障がい者（介助者1人まで）
の方はいたしません。

< 参観時間 >

通 年 9:30～16:30

（3月～9月、土日等は17:00まで延長）

※土日等：土、日、休日、祝日、GW、8/10～8/19日

< 公益社団法人燈光会 平安名埼支所 >

〒906-0101

沖縄県宮古島市城辺字保良1221-14

TEL：090-8294-4010

参観状況は下記のHPにてご確認ください。
悪天候時は灯台にのぼれない場合がございますのでご了承ください。

<https://www.tokokai.org/tourlight/tourlight15/>



へんなさきとうだい 平安名埼灯台

東シナ海と太平洋の
波がぶつかる大パノラマ

のぼれる灯台16の1つです



平安名埼灯台の見どころ



《日本の展望スポットランキング》

- ・2015年 TOP10 入り
- ・2016年 TOP20 入り

《エクセレンス認証》

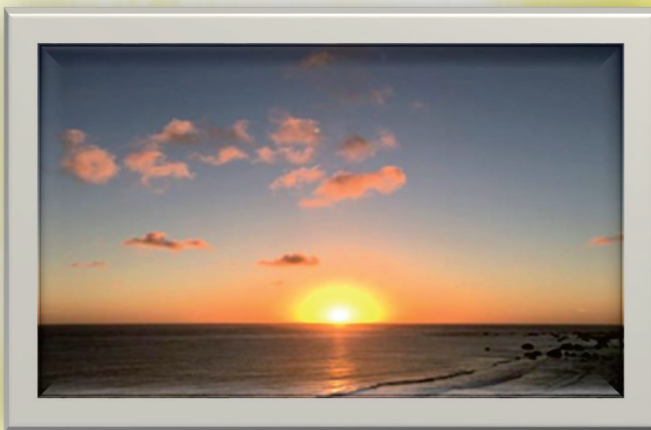
- ・2017～2019年



春に咲き乱れるテッポウユリ

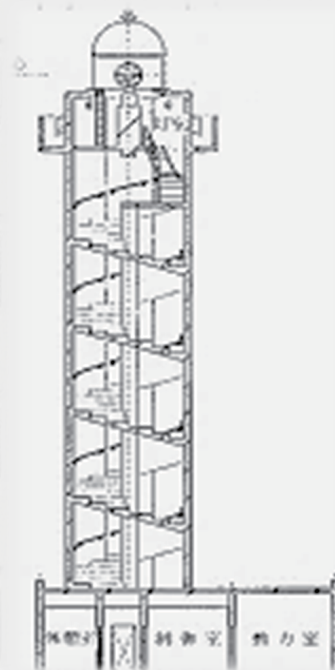


灯台からの景色は360度の大パノラマ



東平安名埼入口から見える美しい朝陽

灯台の姿図



断面図

〔この灯台の概要〕

位 置	北緯 24度43分10秒 東経 125度28分07秒
塗色・構造	白色・塔形(コンクリート造) (灯台の色と造りのことです)
灯 質	単せん白赤互光 20秒に白1せん光、赤1せん光 (沖合の船舶から灯台を見た場合、回転するレンズから放たれる光を20秒ごとにみることができます)
光 度	白光290,000カンデラ 赤光250,000カンデラ (「カンデラ」とは、光源の強さを表す単位です)
光 達 距 離	18.0海里(約33キロメートルです。1海里は1,852メートルです)
高 さ	灯台の基礎部から灯台の頂部まで25メートル 平均水面上から灯火まで43メートル 地上から灯火まで23メートル
初 点 灯	昭和42年3月27日

灯台の歴史

大型貨物船や地元漁船の海難事故が多発していたことから、地元海運関係者の強い要望を受け、昭和38年8月に宮古市町村議会議長から、当時の琉球政府の行政首席(現在の知事)に灯台設置要望がなされました。

すでに、日本政府援助による灯台の建設が進められていたこともあり、琉球政府は日本へ灯台の建設を要望、沖縄が返還される以前の昭和42年3月27日に設置点灯されました。

当初、電源は電柱を建て架空線にて送電していましたが、台風銀座の名のとおりたびたび襲来する大型台風のため、架空線が切断する事故が多発したことから、一時自家発電装置に変更しています。

現在は、景観にも配慮し送電線を地下に埋設、さらに停電時にも対応可能なように予備電源装置も設置し万全な体制をとっています。

2kmにわたる岬の先端に一つのアクセントが加わりさらに景観が増したといわれています。

